☑平成 30 年度 事務事業評価（平成29年度実施事業事後評価）シート ／ 平成 31 年度 実施計画調書 （□新規 ☑拡充 □縮小 □休止・廃止 □現状維持 ）

1 事務事業の基本情報

☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は，代表的なものを1つ記入してください。また，該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合，代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	石下地区浸水対策事業費	補助区分	☑ 国補 □ 県補 □ 市単	終期	☑ 決まっている （平成 35 年度まで） □ 決まっていない	予算科目	区分	公共下水道事業特別会計	款	1	項	1	目	4	事業	3
担当部	都市建設部	担当課	下水道課	担当係	工務 係	作成者	斎藤 弘道	内線（電話番号）	2930	シート作成日	H30.10.19	部長決裁日	H30.10.23			

位置付けられている計画等		根拠法令及び市条例等	
☑ じょうそう未来創生プラン前期基本計画	□ 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」	☑ 国の定める法律	（ 名称 ： 下水道法，都市計画法 ）
□ 常総市復興計画	□ 市民等からの要望	□ 国・県からの通達等	（ 名称 ： ）
□ 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略	☑ その他の計画 （ 名称 ： 常総市都市計画マスタープラン，常総市北部公共下水道全体計画，旧江連用水路整備基本計画 ）	□ 市の条令・要綱・規則等	（ 名称 ： ）

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで，①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で，「現状や課題」はどうなのか？→ ③そのためには何をするべきか？ という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	平成29年度末の整備率は，計画排水面積123.0haに対し，整備済排水面積44.3haにより36.0%である。既設の水路は元々，用水路であったことから流下能力が低く，沿線の市街化及び近年の降雨量の増加も相まって容量が不足し，周辺区域の冠水が生じている。	▶	誰・何を対象に	全体計画区域内の下水道事業計画区域（認可区域）	▶
			どのような方法・手順で	既設水路は元々用水路であり，排水路としては流量断面が不足し流下能力が低いことから，当水路を改修し雨水排水能力を高める。都市計画法及び下水道法に基づく事業認可期間については，随時延伸する。	

望ましい状態	旧江連用水路であった江連都市下水路を雨水排水幹線として整備し，大雨時における計画区域の冠水を解消する。

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標（定量）の設定が困難な場合は，文言目標（定性）でも結構です。なお，指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが，この場合，設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	計画排水区域面積	単位	ha	目標値	123	目標年次	平成	35	年度	指標及び目標値設定の考え方（又は指標・目標値を設定できない場合の理由）	事業認可で定めた計画排水区域を目標値とした。

4 事務事業の実績 Ⓓ

☞ 当該事業の予算を使って，『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお，業務が12個以上ある場合，代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度 業務名	活動量	平成28年度 業務名	活動量	平成29年度 業務名	活動量
事務事業を構成する主な業務	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回
	② 補助・起債申請	2回	② 補助・起債申請	1回	② 補助・起債申請	1回
	③ 工事説明会	1回	③ 工事の管理・監督	1件	③ 工事の管理・監督	1件
	④ 工事の管理・監督	2件	④ 委託業務の管理・監督	2件	④ 委託業務の管理・監督	2件
	⑤ 委託業務の管理・監督	3件	⑤		⑤	
	⑥		⑥		⑥	
	⑦		⑦		⑦	
	⑧		⑧		⑧	
	⑨		⑨		⑨	
	⑩		⑩		⑩	
	⑪		⑪		⑪	
	⑫		⑫		⑫	
	目標値に対する実績値	39 ha	目標値に対する実績値	42 ha	目標値に対する実績値	44 ha
決算額	計 44,450,125 円	内訳 特定財源 41,543,080 円	計 118,934,400 円	内訳 特定財源 118,785,720 円	計 142,016,500 円	内訳 特定財源 141,874,280 円
		一般財源 2,907,045 円		一般財源 148,680 円		一般財源 142,220 円
	（住民一人あたりの行政コスト）	719 円	（住民一人あたりの行政コスト）	1,956 円	（住民一人あたりの行政コスト）	2,349 円

5 担当者評価 Ⓒ

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標どおり	成果内容	事業認可期限の平成35年度に向け，計画どおり事業を進めている。
問題点			

6 担当部長及び担当課長評価 Ⓒ

☞ 担当部長・課長で協議のうえ，評価してください。

事務事業の方向性

☑ 拡充 □ 現行どおり □ 縮小 □ 休止・廃止

評価理由：浸水区域の早期解消を図るため，未実施区間の早期整備が必要である。
若宮戸ポンプ場及び新石下樋管の事業検討については，方向性が定まったのちに，速やかに計画を立てて進めていく。

7 実施計画 Ⓟ

☞ 今後3年間の事業内容について，どのようなことを実施していくつもりなのか，具体的に記入してください。なお，予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	●水路整備工事 リフトローラー工法 L=46.0m ●水路整備工事 オープンシールド工法 L=57.0m ●水路整備工事に伴う道路改良工事 L=290.0m ●関係地権者等工事内容説明訪問 ●事前家屋調査業務 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務	●水路整備工事 オープンシールド工法 L=60.0m ●水路整備工事（最下流部仕上げ） L=20.0m ●事前家屋調査業務 ●関係地権者等工事内容説明訪問 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 ●新石下樋管能力検討業務	●水路整備工事 オープンシールド工法 L=70.0m ●事前家屋調査業務 ●関係地権者等工事内容説明訪問 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務

予算額									
歳出	計	185,010 千円	歳出	計	163,020 千円	歳出	計	165,420 千円
歳入	特定財源	184,976 千円	歳入	特定財源	162,992 千円	歳入	特定財源	165,392 千円
	一般財源	34 千円		一般財源	28 千円		一般財源	28 千円
	計	185,010 千円		計	163,020 千円		計	165,420 千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では，平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み，本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において，その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する，市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会（市民）の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。河川上流である石下地区の浸水対策は市全域の浸水対策に繋がると考えられる。冠水を未然に防ぐためにも，早急に対策を講じるべきである。

10 最終評価（行政改革推進本部） Ⓒ

事務事業の方向性

☑ 拡充 □ 現行どおり □ 縮小 □ 休止・廃止

評価理由：浸水・冠水を早期に解消するためにも計画的な整備が必要と考える。

11 事務事業の改善理由 Ⓐ

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容：公共下水道事業は平成32年度から公営企業会計に移行することから，今後，事業の見直しを図り，経営の安定化に努める。
なお，雨水対策事業については整備計画どおり事業を進める必要がある。